

令和2年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名		制度会計特論 B		担当教員	安藤 鋭也		
	英語授業科目名	Legal Financial Accounting B		単 位	2	学 期	後期	
対象年次	1・2年次	クラス指定	なし	他との関連				
履修条件	会計学の基礎的知識を有していることが望ましいです。 学部「財務会計論」その他財務会計に係る講義履修後の履修をお勧めします。							
テーマ・副題	制度会計のあり方について。							
授 業 の 教育目的 ・ 目 標	制度会計の現状を理解し、そのあり方を吟味します。 前期の特論 A では、財務諸表の認識・測定に係る理論と構想を理解します。 後期の特論 B では、近年の会計基準の動向を理解します。							
授 業 の 理解度の 到達目標	制度会計が抱える問題点や課題を理解します。その上で自分なりの視点を持つことが目標です。							
授業キーワード	日本基準(含む企業会計原則)、トライアングル体制(会社法、金融商品取引法、法人税法)、IFRS、米国会計基準。							
授業の内容	大学院の授業なので講義は最低限とします。双方向の議論を通して制度会計の深い理解に努めます。							
授業の方法	受講者が順番に発表する形でテキストを輪読します。							
授業展開	1. 資産の会計(2)固定資産の会計 2. 持分の会計(1)持分とは何か 3. 持分の会計(2)引当金の会計 4. 金融商品の会計(1)金融危機と金融商品会計 5. 金融商品の会計(2)ヘッジ会計 6. 従業員給付の会計(1)従業員給付とは何か 7. 従業員給付の会計(2)ストック・オプションの会計 8. 連結グループの会計(1)連結の範囲と連結財務諸表 9. 連結グループの会計(2)親会社概念とエンティティ概念 10. 企業結合・事業分離等の会計(1)M&A をめぐる新潮流 11. 企業結合・事業分離等の会計(2)のれんの非償却が財務諸表に及ぼす影響 12. グローバリゼーションの会計(1)日本企業のグローバリゼーションと為替換算 13. グローバリゼーションの会計(2)為替予約の会計 14. 戦略的企業評価に向けて(1)企業を見る目－イメージか財務的裏づけか 15. 戦略的企業評価に向けて(2)財務諸表分析と企業の会計政策							
成 績 評価方法	授業への取組み姿勢(40%)、発表内容のレベル(30%)、レポート内容のレベル(30%)で評価します。							
成 績 評価基準	総合点が 80 点以上を A、79～70 点を B、69～60 点を C、それ以下を D とします。 欠席が 1/3 以上の場合は E となります。							
テキスト	伊藤邦雄(2018)『新・現代会計入門(第3版)』日本経済新聞出版社。							
参考図書	適宜ご紹介します。							
準備学習に 必要な時間 又はそれに 準じる程度 の具体的な 学習内容	発表者は、担当箇所を十分理解した上で発表に臨むこと、所要部数のレジメを作成し配布することが必要です。 出席者は、テキストの予習・復習を欠かさないこと、疑問点や問題意識を明確にして出席することが必要です。							
学生への メッセージ	制度会計や関連する様斬な事象に関心を抱くこと、授業に主体的・積極的に参加することを期待します。							
オフィスアワー	火曜 3 時限、水曜 2 時限(メールによる事前のアポイント取り付けが望ましいです)。							
連 絡 先	電話番号	0274-42-2828 (内線：5511)		メールアドレス:	andou@jobu. ac. jp			
人数制限	特に定めません。							

